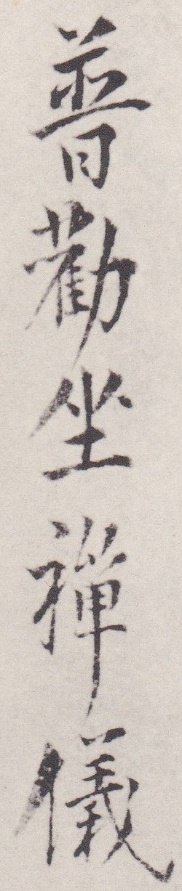
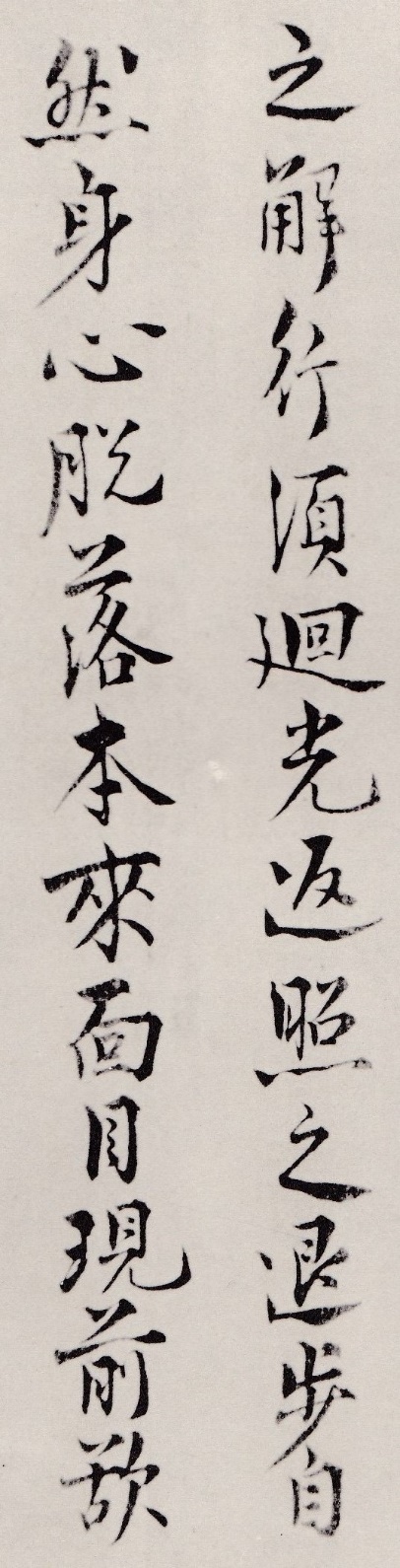
◎道元禅師　直筆文字



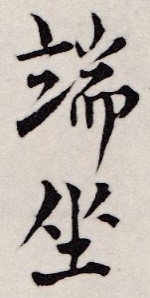
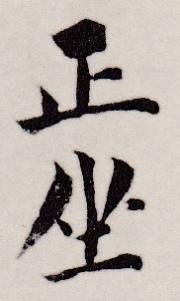
にをねをうのをし、のをいよ。にし、のせん。をんとせば、ぎをめよ。



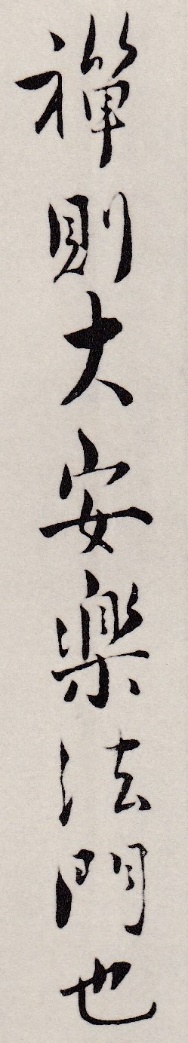




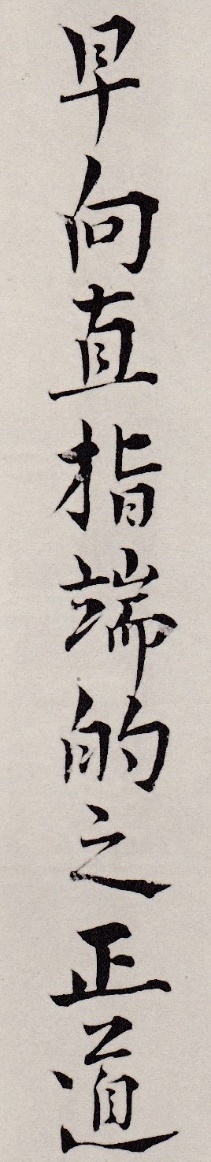
…　 …　すべし。

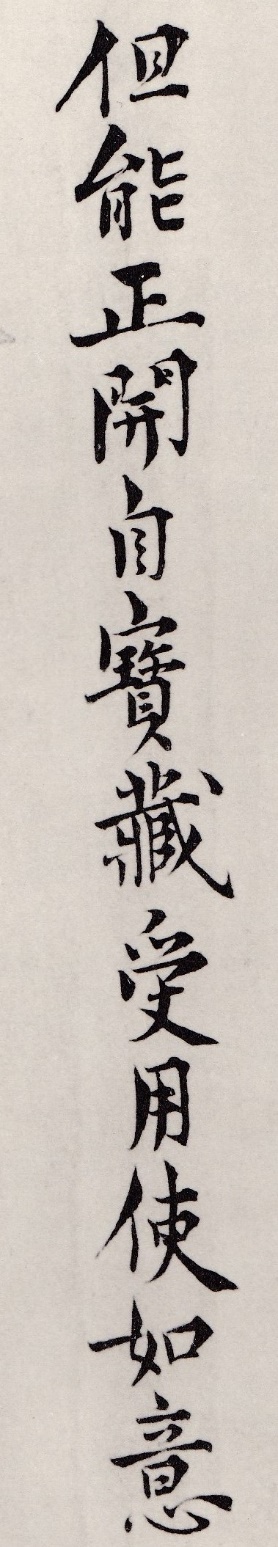
ゆるはちのなり。



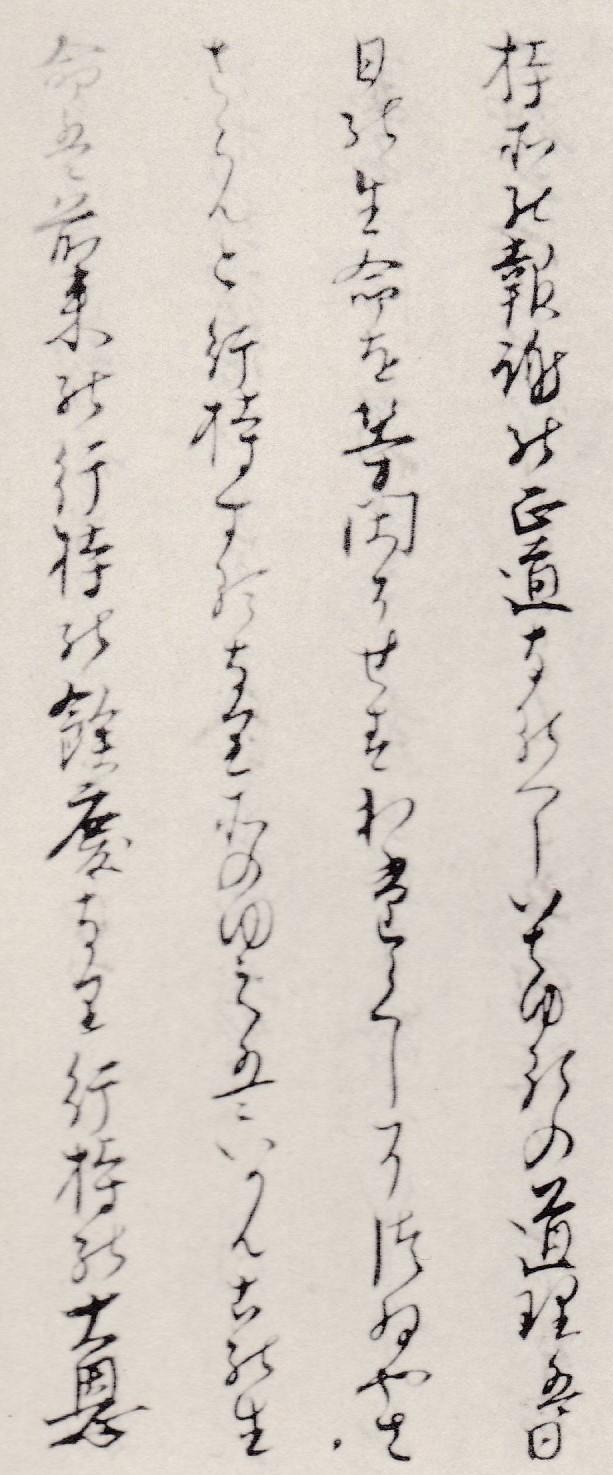
くのにえ。

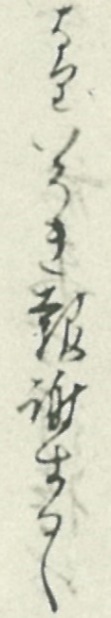


だくにらのをきてしにわん。



ただまさにの、そののなるべし。いわゆるのは、のとにせず、わたくしについやさざらんとするなり。そのゆえはいかん。このは、ののなり、のなり。いそぎすべし。





[] いわく、「、・・・・、」。まことにいまのに、にをかけ、をとする、ただのみにあらず、なりとも、をにするともがら、たえてせざるなり。ただのあいだ、のみなり。



